



士別ロータリークラブ会報

創立 1960・3・24 RI第 2500 地区

Vol. 41 No. 2816

2022-2023年度国際ロータリーのテーマ

2022-2023年度R I 会長 ジェニファーE.ジョーンズ



イマジン
ロータリー



かわにしの丘

R I ホームページ <https://www.rotary.org>

2022-2023年度R I 第2500地区テーマ

2022-2023年度R I 第2500地区ガバナー久木佐知子

ともに紡ごう！ロータリーの未来へ

- 会 長／細川 博司
- 副会長／神田 裕教
- 幹 事／大橋 直幸
- 例会場／士別グランドホテル
- 例会日／毎週月曜日 12:10～13:00
- 事務所／士別グランドホテル TEL0165-23-1234

2500地区ホームページ <http://rid2500.jp/>

士別RC <http://www.douhoku.jp/sibeturc/>

第2904回例会 2023年 6月 19日

今日のプログラム

・普通例会

前回（6月12日）の記録 ・普通例会

司 会 神田英一 会場監督
 斉 唱 我らの生業
 本日の出席 会員 43人中 出席者 27人 出席率 62.79%
 本日の欠席 泉谷勇・榎本實男・加藤博・國森和磨・鈴木勉・田中道也・奈良康弘・深尾幸夫
 藤吉敏博・前田孝幸・水田孝志・山口哲雄・山下卓己・大野裕一郎・谷温恵
 山本政史
 メークアップ
 ビジター
 ゲスト
 ニコニコBOX

累計 278,000円

例会予定

■ 6月例会日[ロータリー親睦活動月間]

- 6月 5日(月) 普通例会・理事会
- 6月12日(月) 普通例会
- 6月19日(月) 普通例会
- 6月26日(月) 夜間例会

■ 7月例会日[母子の健康月間]

- 7月 3日(月) 普通例会・理事会
- 7月10日(月) 普通例会
- 7月17日(月) 休会：海の日
- 7月24日(月) 普通例会
- 7月31日(月) 夜間例会

■会務報告.....細川 博司会長

皆さんこんにちは。

アイルランド、時速96kmで走行する車が停止するのに必要な距離は80mです。

2022年、交通事故で亡くなった人の数は世界中で130万人。その半数以上が歩行者と自転車、バイクの利用者です。

中でも子どもたちが最も危険にさらされていることから、タラモア・ロータリークラブと地区は、コロナ禍で中止されていた独自のキャンペーン「Be Safe Be Seen」を再開。このプロジェクトは、特に暗い冬季に、周りからよく見える衣服を着る重要性を伝えるもの。

昨年秋、クラブは危機管理の専門家やニュース局と協力して小学校に資料を配布し、会員らが学校を訪れ、メッセージを伝えました。

プロジェクトは1か月以上継続して行われ、地域のラジオで広告が流されました。

「このキャンペーンの最大の目的は、幼い子どもたちを守り、交通ルールを教えることです。

予防こそ最善の方法です」とクラブ会長で地元の病院で顧問整形外科医を務めるエオイン・シーハンさんは話します。子供達を事故から守り被害者や加害者にならない様に支援する話に感動いたしました。

■幹事報告.....大橋 直幸幹事

1. 今月21日に開催されますロータリー塾ですが、締め切りが本日までとなっておりますので、特に出席される方におかれましては返信を宜しくお願い致します。
2. 名寄ロータリークラブ 大野真一郎会長より、インターシティミーティング終了の御礼と集合写真が届いておりますのでご報告と致します。

■次年度幹事報告.....福島和秀 次年度幹事

1. クラブ協議会の日程を6月29日午後6時より土別グランドホテルにて開催いたします。出席予定の皆様には別途案内を送付していますのでご確認ください。当日は2023-24年度の園部ガバナー補佐も出席予定となっています。
2. 米山記念奨学会セミナー・ロータリー財団セミナー開催の案内が届いています。7月23日紋別にて開催となります。出席を希望されます方は福島まで連絡お願いいたします。

■2023年国際ロータリークラブ世界大会■

(メルボルン)



閉会式で国際ロータリーのゴードン R. マッキナリー2023-24年度会長は、メンタルヘルスを最優先とするよう会員に呼びかける理由を説明しました。自身の兄が自ら命を絶ったとき、メンタルヘルスの問題に対するスティグマと闘い、心のケアをより多くの人が利用できるようにすることを決意したと、マッキナリー氏は述べました「兄やほかの大勢の人が(自ら命を絶つまで)追いつめられるのは、メンタルヘルスの話題が依然としてタブー視され、メンタルヘルスサービスが不十分であることが主な理由の一つであると、あえて申し上げたいと思います。そのためにロータリーに何かできるはずです。心の健康のニーズを私たちが地元地域や世界に示すことができると確信しています」マッキナリー氏はこう続けます。「ロータリー会員として、また隣人として、誰かが支えてくれていると皆が感じられるように互いに助け合うことができます。メンタルヘルスサービスを提唱し、メンタルヘルス分野の専門家との架け橋となることで治療へのアクセスを広げることができます。歴史における重要な時にこの取り組みに参加し、行動を起こすことで「世界に希望を生み出す」よう、マッキナリー氏は呼びかけました。「希望を生み出すには、重要な活動を継続するだけでなく、それをもっと効果的に行っていく必要があります」とマッキナリー氏。

結婚記念日おめでとうございます！



(泉谷会員・大江会員・尾崎会員・福島会員・山下会員)